

佐保ひろば

佐保地域広報紙

第18号

2022年3月31日発行

佐保地域自治協議会

佐保地区自治連合会

<http://www.saho-jichikyo.org>

「地域食堂」開設へ動く

佐保地域自治協議会 ふれあい会館活用

子ども食堂、高齢者の憩いの場、各種イベントなどの地域交流施設としての「地域食堂」の開設へ佐保地区自治連合会主導で動いています。今後さらに詳細の検討を加えていきます。

子ども食堂は全国数千か所で開催され、奈良市内でも20か所以上が開設されています。国や自治体の支援策も示されており、自治協議会として取り組む意義は十分あると考えています。

ふれあい会館



地域食堂のイメージ
(イラスト 五十嵐 創一)

「子供食堂」厚労省通知 (抜粋)

- ① 開設前に保健所に相談し、食品衛生の指導を求める。
- ② 調理担当者は食品衛生に関する基本的知識を習得する。
- ③ 無理のない献立や提供食数を決める。
- ④ 給湯・手洗いなど調理施設の整っている施設を利用する。
- ⑤ 調理担当者の健康チェックを行う。体調不良者は調理・配膳に携わらない。
- ⑥ 前日調理は行わず、調理後2時間以内に食べ終える。

近隣地域対象 少人数 子ども無料

現在検討中の「地域食堂」は福祉・教育等を目的とする非営利活動で月間1~2回開催、子どもは無料とし、大人も100円程としています。不特定多数を対象とせず、近隣地域に絞り20人程度を事前申し込み制で受け付けます。

開設場所は当面、佐保地域ふれあい会館を活用する案を考え

ています。同会館には給湯設備があり、保健所では「地域食堂」開設には規制、営業許可・届け出等は必要ないと判断しています。

ただし、営業許可は不要であっても、子ども食堂に関する厚生労働省通知(別掲)に記載された衛生管理の注意事項を確認・順守することとされています。

開催場所は将来的には、空き家、空き店舗、既設飲食店の活用を目指しています。資金計画については公的補助や団体寄付などを検討していきます。

今後、「地域食堂」の運営主体は佐保地域自治協議会とする方向で、同協議会の有志や地域の諸団体からもスタッフとして協力・参加しやすい組織とする予定です。

自治連合会5月14日 定時総会 自治協議会6月11日

3年ぶり全員総会 組織人事など審議

佐保地域自治協議会(中島佳彦会長)と佐保地区自治連合会(同会長)は今年の定時総会を自治連合会は5月14日(土曜)、自治協議会は6月11日(土曜)の午前中にホテルリガール春日野で開催することと

しました。この2年間は新型コロナウイルス感染拡大のため、書面総会に切り替えており、3年ぶりの全員総会となります。

自治連合会は事業報告、会計報告の審議とともに、役員の変更を行い体制を一新します。また、役員選任規定を改定し、自治会長以外の有識者を起用できるようにする他、自治会の活性化をサポートするプロジェクト

チームの立ち上げも提案します。

自治協議会は、事業報告、会計報告の審議とともに、役員や代議員の改選期となりますので、役員交代や新たな代議員の選出を行います。自治協議会は地域の参加諸団体の包括的組織ですが、これまで2年間にこうした会議体はなかったため、参加団体代表者会議新設の提案を行います。

佐保地区新年懇親会 今年も中止

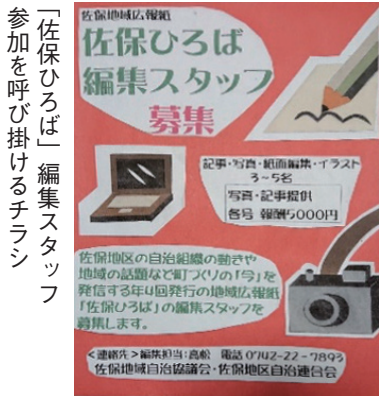
コロナ感染禍 活動自粛続く

新型コロナウイルス・オミクロンの感染拡大が収まらず、奈良は全国3位～4位の高い感染率となり、医療現場への負担も生じ始めています。

佐保地区自治連合会、佐保地域自治協議会は1月に予定して

いた役員会を取り止め、また、2月23日に予定していた佐保地域新年懇親会を昨年に続き中止しました。

佐保地域ふれあい会館では、奈良市の感染予防対策通達に基づき大声を伴う活動などの禁止措置を講じて対応しています。



「佐保ひろば」編集スタッフ参加を呼び掛けるチラシ

佐保ひろば編集 スタッフ募集中

佐保地域自治協議会と佐保地区自治連合会が発行する「佐保ひろば」の編集スタッフを募集中です。総括編集長の下、取材班と編集班が取材・編集会議を開き、紙面作りをします。年間4回（四半期末）発行、報酬は各号5000円です。創刊17年、新スタッフで地域の自治活動や話題を取り上げ、佐保の町づくりを進めていきます。連絡先：編集担当・高松 (0742-22-7893)

船橋通り道路改修 奈良市長に要望書

船橋通り13自治会長

危険な道路段差が著しくなっている船橋通りの改修工事の要望を佐保地域自治協議会、佐保地区自治連合会、近隣13自治会がこのほど奈良市長に提出しました。船橋通りでは頻りに自転車の転倒事故が発生し、佐保地区連合会や佐保地域自治協議会としても見過ごせないと判断、提出に至りました。

北袋交差点でヘドロ噴出 地元自治会が改修を要望

北袋町交差点付近の東西道路で白いヘドロ液化状のものが噴出し、北袋町自治会は佐保地域自治協議会と佐保地区自治連合会の連名で奈良市に改修工事の要望書を提出しました。要望書によると、今年2月18日午前11時ごろ白いヘドロ液化状が噴出し、民家に押し寄せる事態

<船橋通り要望書の内容>

道路は20数年前に整備され現在に至っておりますが、当初より車道道路面は特殊な形状になっており、車道部と歩道部の境に段差がある状態です。

特殊な車道道路面は通行する車両タイヤ騒音に近隣住民が長年悩まされております。歩道部では車道と歩道の境の段差形状が原因で、歩行者・自転車通行において頻りに滑り転倒事故が発生し、大変危険な状況が続いております。

佐保地区として危険な「船橋通り」の改善は、従来より地域住民の『安全安心』確保として非常に関心度の高い課題としております。緊急、道路現況の再調査及び安全確保の改修施工を強く請願致します。

今般の要望書は佐保地域自治協議会・佐保地区自治連合会並びに近隣自治会の連名で請願提出します。

になりました。昨年9月には同交差点の道路が直径2メートル陥没し、緊急対応を要請したばかりで、度重なる不具合に付近住民の不安が高まっています。

佐保地区自治活動記録

▽1月/26日開催予定の自治連合会役員会はコロナ感染拡大のため中止▽17日=佐保事務局会議。ふれあい会館での新型コロナウイルス感染予防対策協議▽26日=佐保事務局会議で自治連合会、自治協議会の令和4年度活動計画素案を協議▽27日=ふれあい会館運営委員会で令和4年度の運営委構成と役員人事協議▽2月/23日開催予定の佐保地区新年懇親会はコロナ感

染拡大のため中止。▽17日=佐保事務局会議。「佐保ひろば」編集スタッフ募集チラシ案決定。▽25日=ふれあい会館運営委。新館2階の和室利用者が墨でカーペットを汚した件について追跡調査を決定。ふれあい会館管理運営規定の一部見直しと新役員人事を協議。▽26日=自治連合会役員会。令和4年度の人事案説明。令和4年度自治連合会総会は5月14日午前開催と決定。自治協議会に新会議「参加団体代表者全体協議

会(全協)」を設置する案を説明。「佐保ひろば18号」の紙面構成説明。▽3月/3日=佐保小学校創立100周年事業について自治連合会副会長、会計担当が榎校長に面会▽4日=佐保ひろばスタッフ募集チラシを印刷会社に発注▽17日=佐保事務局会議。自治連合会、自治協議会役員会の議案検討▽22日=自治連合会役員会。令和4年度事業計画など協議▽27日=自治協議会役員会。令和4年度事業計画など協議。

自治活動ガイド コミュニティ デザイン ガイド

自治活動をしていくには何をどうすればいいのか——自治活動のガイドとして、今回より随時掲載していきます。

奈良市活性化セミナー報告

第1回は昨年10月に開催された奈良市活性化セミナーからの報告です。テーマは「地域が自主的に事業を展開するためにビジョンの共有の際に必要な視点」です。

いま「地域の現状は」

人口減少、高齢化が進み町単位での要員の不足、自治会未加入者の増加などにより自治会活動は低下の傾向です。

自治会リーダーが輪番制で頻繁に交代し継続的な活動に支障をきたす状況となっています。

地域自治活動には多種多様な団体がありますが、行政と縦割りにつながっており、地域の自立性をもって事業を行うことが

難しくなっています。

また、社会福祉行政は個人や世帯が抱える生きずらさやリスクが複雑化、多様化し、個別性が高く、対象者別の支援に苦慮しているのが現状です。

「活動の取り組み手順」

まず「地域住民の活動ステップ」です。第1には「地域デザイン策定への意識の喚起・共有」です。町をどんな街にしたいのかを考えることです。第2に「体制の構築」です。現状を見て、「どんな組織・運営がふさわしいか」を考え行動することです。第3は「地域課題解決のための取り組み実行」です。「何を」「いつまで」「どのように」行うかを整理して考えていきます。

次に「変化するためのおすすめプラン見つけ」です。

ここでは、「知る・学ぶ」作業で地域の分析、住民アンケートなどを実施します。「備える」作業では、できる改善から始め

る。アイデアを共有し研修などを行います。そして「育てる」作業では各地区のPR・自慢大会などで好事例を発掘していきます。重要なのは中心となるコア・メンバーの情報共有、推進体制をつくることです。

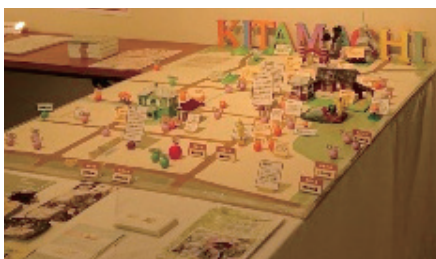
地域課題解決への基本プロセスは、まず「地域の声を住民から集める」「地域を知る」ことから始め、次に課題を共有し、事業の仕組みを考えます。そして住民が力を合わせて解決していきます。

さらに、次世代を見据えた地域づくりとして、▽地域はどうあるべきか▽課題を見える化し、事業として捉える▽地域総力戦で次の時代に挑む行動が望ましいのです。

「知る」「考える」「動いてみる」「持続させる」

これを繰り返し行うことで、私たちの地域づくりを進めていくことが大切です。

町づくり まずは「知る」「考える」「動いてみる」



「発見！奈良きた町」展

近鉄奈良駅から佐保山一帯に広がる「奈良きた町」の魅力や歴史地誌を見つめ直し、再発見する「発見！奈良きたまち 重ねるまなざし」の展示会が奈良県立美術館1階ギャラリーで2月5日から3月27日まで開催されました。

NPO法人文化創造アルカの主催で今回が6回目。奈良教育大学附属中学校、奈良町・大学間連携協議会、旧鍋屋交番とならきたまちの会（なべかつ）、転害門前旧銀行建物活用協議会（てんかつ）、きたまちコンセ



ントが協力。畿央大学からも出展がありました。

教育大附属中のコーナーにはきたまちの地誌の詳しい研究成果のパネルが十数枚並べられ、奈良女子大学、転害門の模型を置いた北町ジオラマも展示されていました。（写真上＝きた町ジオラマ。右＝研究発表パネル）



正月の寄せ植え作り

北部婦人会の師走恒例の正月寄せ植え作りが12月中旬に佐保地域ふれあい会館で行われました。参加者は50人を超え、思い思いに創作、各家庭に持ち帰りました。ふれあい会館玄関にも数点が飾られ、正月の装いを整えました。（写真は正月寄せ植えを創作した婦人会メンバー）

佐保地域の住民の交流の場

佐保地域ふれあい会館館長を務めさせていただいております辻中二三夫です。

ふれあい会館は旧佐保幼稚園を一部改修して若草公民館佐保分館となり、令和2年度に佐保地域自治協議会が奈良市の指定管理者として佐保地域ふれあい会館の管理運営を行っています。当会館は市内にお住いの市民の方々（特に佐保地域を対象）に交流の場として、4部屋と駐車場を有料で利用していただいています。

約40年前の設立当初は利用される団体も多かったと聞いていますが、現在は半分以下の利



用状況になっています。また、今はコロナ禍の影響で利用が控えられております。ふれあい会館の利用は営利を目的とした団体以外で、予約方法は令和3年6月よりスマートホンかパソコンでオンライン予約が可能となりました。閉館日の月曜日と正月休みとお盆休みを除き、カ

レンダーの日にちの90日先まで予約ができます。予約利用料金は予約日から約1週間位までに毎週火曜日と木曜日午後1時から3時の受付窓口が開いている時間内に事務所へ持参してもらっています。

また、交流の場として自治協議会主催で毎年7月と11月の最終日曜日の午前中に佐保地域ふれあい会館朝市を開催しています。徐々に来館者も増えています。他にもなにか交流できる事業等を検討しているところです。

奈良市内の各種団体で佐保地域ふれあい会館のご利用と今後ますますの発展ができますようにご協力をお願いいたします。

佐保小学校 今秋に創立100周年

創立100周年を迎える佐保小



11月中旬に記念式典開催

佐保小学校（榎康二校長）は今秋11月に創立100周年を迎えます。大正11年11月1日に奈良第五尋常小学校として開校されて以来、地域の要として歴史を重ねてきました。

昨年、創立100周年記念事

業を地域で推進するため、地域団体・保護者の協力により「創立100周年記念事業実行委員会」が発足しました。

記念式典は11月中旬の予定で、記念事業として、「佐保に生きる」教育実践、「ホテルの舞うビオトープ」事業の推進などが企画されています。

「佐保に生きる」教育実践

「ビオトープ」推進・整備

14名 晴れ晴れ卒園 — 佐保幼稚園 —



佐保幼稚園（出原和美園長）では、3月16日に卒園式を迎えました。未就園児の頃より地域の皆様にお世話になった14名の5歳児が巣立ちました。小学校に上がりましても、見守りの程よろしく願いいたします。

佐保川川路桜祭 3月26日開幕



提灯も整えられ春を待つ佐保川堤

2年ぶり、4月3日まで

春は桜——佐保川川路桜まつりが新型コロナウイルス禍を乗り越え2年ぶりに3月26日から4月3日までの12日間、開催されます。佐保川堤にはすでに提灯が吊り下げられ準備が整えられています。今年はライトアップや食べ物売店は行いませんが、桜まつり保存会（南信久会長）は待ちに待った開催にこころを弾ませています。